



Noguchi Times

NOGUCHI INTERNATIONAL BUSINESS CONFERENCE NEWS Vol. 11 2016.1.22



米国財団法人野口医学研究所 評議員 阿部博幸

CONTENTS

■ご挨拶		p2
■第21回NIBC開催内容		p3
■米国臨床研修 選考会		p4
■医療・介護業界向けセミナー		p5
■ビル看板設置のお知らせ		p6
■賛助会員のご紹介		p7
■野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内		p7

ご挨拶

新しい年を迎えて



新年おめでとうございます。

ご健勝にて新春をお迎えになった事と思います。今年も皆様と共々活気のある明るい年にしようではありませんか。

日本経済のデフレ脱却を目指すアベノミクスは着実にプラス幅を拡大して来ました。しかし、ここへ来て鈍化の傾向も見えます。原因は14年4月の消費税引き上げによる消費の落込みと原油価格の下落です。問題は消費の低迷です。需要の拡大が急務です。

しかし、希望の芽は間違いなく生まれてきています。アベノミクスによって景気が回復するにつれ日本経済の足場は強さを取り戻しつつあります。中長期的には問題ないものと考えます。

更に東京オリンピックの開催は投資を促し地方経済の活性化に繋がります。関連して訪日外国人の増加は日本経済を後押しします。昨年8月には1,300万人に達しました。その経済効果は大きく、補正予算並みの金額になりました。

訪日外国人急増の背景はビザの緩和・円安等の要因もありますが、根本的には海外で日本への評価が高まっている事によります。

この時に当たり野口医学研究所は持てる内外の医療機関・医師団の総力を結集して人々の健康管理の使命に邁進する事になります。

先端医療機器を揃えた「画像診断クリニック」は海外からも注目され、健康関連商品の製造販売と健康に関わるサービスは人々に限らない安心感と幸せを提供します。

消費税10%が逆風にならぬよう、「新・三本の矢」の具体策明示等、今年に課せられた問題は多々あります。

日本人の心技一体感に期待します。「野口」も忙しくなりそうです。

米国財団法人野口医学研究所
参与会名誉会長 安井 一正



第21回NIBC開催内容報告

(NIBC : Noguchi International Business Conference)

2015年11月19日(木)

於：野口医学研究所 9階会議室

『日本酒の魅力』

美味しい日本酒を造るには、清澄な水を使用することが重要です。我が社では、ミネラルが豊富で酒造りに最適と言われている「宮水(六甲山の伏流水)」の使用にこだわっています。「灘の男酒」と称されるようにのど越しがよく飲みあきしない辛口のお酒になるのが特徴です。

日本酒は香りや味の濃さによって、薫酒・爽酒・醇酒・熟酒の4つのタイプに分類されます。日本酒と料理の組み合わせのコツは、其々の味の濃さを合わせることです。しかし、日本酒と料理のマリアージュに出会うこともありますので、是非料理に合わせて色々な日本酒を楽しんで頂けたらと思います。

近年、日本酒の国内市場は全体的に停滞していますが、吟醸酒、純米吟醸酒、純米酒である特定名称酒は増加傾向にあります。また海外では、10年間で約2.5倍の市場へと成長しています。今後は、ワインのように国際的なコンペティションで品質戦略を行い、日本文化である日本食とともに日本酒を広く知ってもらうことが輸出の拡大につながるのではないかと考えています。また、他国の醸造所は近年増加傾向にあります。清酒の多様性の観点から歓迎しています。

日本酒は百薬の長といわれるように、適量飲酒であれば健康面において利点があるとされています。ゆったりとした気分です量を飲めばストレスを解消し、心を安らかにしてくれるでしょう。

これからも国内外でのイベントや展示会を通じ、日本酒の魅力を皆様に伝えていきたいと思っています。



日本盛株式会社
常務取締役
曾我 浩

『いま、急増している前立腺癌の健診について』



米国財団法人野口医学研究所 理事
特定非営利活動法人 野口医学研究所 専務理事
野口記念インターナショナル画像診断クリニック 理事長
佐藤俊彦

今回は、高齢男性に多い前立腺癌の事例についてご紹介します。

1人目は右腎臓癌の手術後に検診を受診した男性の事例です。前立腺癌の腫瘍マーカーであるPSAが高い数値を示していましたが、PSAは炎症がある場合も高値となる為、これだけでは判断できません。MRI(画像診断)検査でも反応が見られたものの、前立腺に一致した広がりには癌ではありませんでした。由ってこの男性は癌ではなく炎症と判断しました。

2人目は未分化の前立腺癌と診断された46歳男性の事例です。一般検診ではPSA値を測定しただけでしたが、MRI検査を行った結果、2箇所にも未分化癌というたちの悪い腫瘍が確認されました。未分化癌はPSAに反応が見られないのが特徴であるため、一般検診のみでは見落とされていたでしょう。

以上のように、一般検査(PSA値測定)で正常と判定された人でも、実は悪性度の高い癌が存在するというケースがありますので、一般検診と画像診断を組み合わせることは非常に重要です。特に、画像診断が決め手になる場合が数多くありますので、診断にお困りの方や治療が上手くいっていないという方は是非ご相談頂ければと思います。

米国臨床研修 選考会

NMRI Annual Scholarship Examination 2015

2015年11月29日(日)

場所: 米国財団法人野口医学研究所 9階会議室

共催: 一般社団法人野口医学研究所

今年も医師や医学生を対象とした米国臨床研修の選考会を実施しました。書類審査を通過した計37名の受験生が、グループディスカッション形式に依る選考会に臨みました。午後には、前年度研修生からの内容報告と、トーマスジェファソン大学(Thomas Jefferson University:以下TJU)副学長&医学校校長であるDr. Mark L. Tykocinskiによる講演会がありました。



選考会の様子



安藤 崇之

久保田 隆文

『ハワイ大学臨床研修報告』
『The clinical skills program
at Thomas Jefferson University』



前年度研修生による研修報告会



『当財団とトーマス・ジェファソン大学との連携』 Dr. Mark L. Tykocinski



Mark L.
Tykocinski



Charles A. Pohl



佐藤 隆美



(左) Dr. Mark L. Tykocinski : TJU副学長&医学校校長

(中央) Dr. Charles A. Pohl : TJU医学校副校長、医学部長代理

(右) Dr. Takami Sato : TJU 腫瘍内科教授、米財野口評議員会 会長

医療・介護業界向けセミナー

2015年11月17日、ホスピタル人材総合研究所株式会社様からの依頼を受け、米国財団法人野口医学研究所の創立者・名誉理事 浅野嘉久が講師となり、医療・介護業界向けセミナーを実施しました。



『今後の病院経営 -課題と解決方法-』と題したこの講演では、冒頭で『Humanity & Empathy（思いやりと共感）』の重要性について触れ、「野口」の目的や基本コンセプトについて参加者に説明しました。

本題では、良い医師が必ずしも良い経営者ではないことや、病院経営の主役は事務局（総務）であること、医師を如何にコントロールできるかが重要であること等を挙げ、日本はアメリカに比べ経営感覚の高い医師が少ない点について指摘しました。



講演会や勉強会等のご要望は「社団野口」までお問い合わせ下さい。

ビル看板設置のお知らせ

2015年12月26日より、東京エリア（箱崎、芝）並びに関西エリア（弁天）の高速道路に於いて、野口医学研究所のビル看板の掲出を開始しました。この看板には、野口医学研究所の基本コンセプトである『患者優先の医療を目指して』と『Humanity & Empathy in Medicine』を掲げています。



【東京】縦8m × 横12m

箱崎：成田空港から東京都心へ
向かう首都高速9号（上り）



【東京】縦8m × 横14m

箱崎：東京都心から成田空港へ
向かう首都高速9号（下り）



【東京】縦6m × 横8m

芝：羽田空港から東京都心へ
向かう首都高速環状線（上り）



【大阪】縦6m × 横18m

弁天：関西国際空港から大阪市内へ
向かう阪神高速港線（上り）



賛助会員のご紹介

米国財団法人野口医学研究所は、国際医学交流の促進を目的とした活動を永年に亘り続けてきました。日本が生んだ世界的医学者・野口英世博士の偉大な業績を称えその遺志を受け継ぐためには、国際医学交流活動は不可欠であると考えています。当財団の「賛助会員制度」は、多くの方々にこの活動へのご理解とご支援を承る役割を果たしています。今回は、株式会社サンリツ様をご紹介します。

**サンリツ**は生命と科学の調和を図り、
健康的な生活づくりに貢献します!!

www.san-g.com



人 健康 未来 を創造する

事業内容 ■ 臨床検査事業 ■ 食品衛生検査事業

 株式会社 **サンリツ** 〒276-0022 千葉県八千代市上高野1353-25 TEL: 047-487-2631 (代) FAX: 047-487-2861

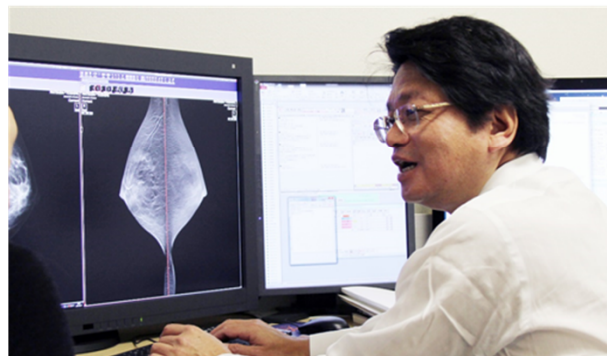


医療法人社団NIDC

野口記念インターナショナル画像診断クリニック

Noguchi International Diagnostic Clinic

- **主治医以外に意見を求めたい方に**
「画像診断セカンドオピニオン」
- **がんの早期発見に**
「テロメスキャン®」
- **がんの免疫細胞療法に**
「BAK療法」
- **乳がんに対する不安に**
「乳房専用のPET検査“PEM”」



是非一度ご相談下さい

お問い合わせは
「野口医学研究所」 まで



**Facebook &
アメーバブログ
始めました。**

 いいね! **&コメント**
よろしくお願いします!



浅野嘉久  検索

NOGUCHI TIMES

Noguchi International Business Conference News Vol. 11

発行日 2016年1月22日
発行人 安東 恭助
発行所 米国財団法人野口医学研究所
編集 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13
電話 03-3501-0130
米国財団法人野口医学研究所 参与会
